

市政に関する

一般質問の概要

9月11日、12日に議員23名が市の考えをいただきました。主な質問、答弁の要旨を紹介いたします。

屋内プール無料開放事業 2年目の評価は

新政海クラブ 鈴木 守



問：夏休み、学校プールから子どもたちの元気な声が聞こえなくなり、2年が経ちました。学校プール開放事業が、屋内プール無料開放事業に変更になったためです。この事業は、変更後2年目が経過したところであり、19年度の実施状況を踏まえ、無料開放期間の延長など改善が加えられましたが、その評価と、今後の取り組みを伺います。また、学校プール再開希望者の声も多数寄せられています。市の考えを伺います。

答（市長）：実施している3施設の状況を視察し利用者感想を伺ったところ好評であり、監視体制・管理運営面において、安全・安心で楽しいプールを提供できたと考えています。夏

休みの小学生を対象とした屋内プール無料開放事業は、「安全な施設」、「確実な監視体制」、「緊急時の体制確保」に万全を期し、今後も継続していきます。

答（市民協働部次長）：プール開放事業は、利用者の安全確保を最優先に実施すべきであり、現時点では、学校プールを利用しているプール開放事業は、考えていません。



▲雨の日でも安心の屋内プール

東柏ケ谷の桜並木 今後の整備どうする

新政海クラブ 鈴木 惣太



問：東柏ケ谷一、二丁目の桜並木は、昭和30年ごろ植樹されたものですが、先日、座間市側の桜並木の一部の老木が折れ、車に損傷を与える事故がありました。座間市はこの周辺の桜の木を全部切ってしまうとしたが、海老名市側の桜並木も同様の状況です。この桜並木の整備について、老木を切り若い木を植え直すことや、雨水管の整備、商店街活性化のための駐車場の設置など今後どのような整備を考えているのか伺います。



▲春の美しさの一方で老木化は進む…

答（経済環境部長）：老木化した桜並木については、専門的な診断後、地元関係者と調整し、伐採や剪定といった適切な安全対策を行います。雨水管の整備は、座間市と協議し歩道を合わせ整備する予定です。さく

域と学校の連携を深めるようにしてはどうでしょうか。

答（教育長）：学校や地域との連携、交流については各学校の地域、PTAを中心として、独自の積み重ねや特色を生かして取り組み、コーディネーターの役割を十分に果たしていると考えています。

問：ひびきあう教育の実現には、社会力（様々な人と良い関係をつくりながら、社会の場で発揮する力）を培うことが必要だと考えます。各学校に「地域交流コ

各学校に地域交流 コーディネーターの配置を

市政クラブ 坂本 俊六



「地域交流委員会」（PTA）、「放課後子ども教室」（地域の方が指導者となり、子どもたちの様々な要望にこたえる）等の推進を図り、地

多重債務者の専門相談 窓口本市でも開設を

共産党 志村 憲一



問：現在、消費者金融の利用者が全国で1400万人、クレジットカードや消費者金融等、何箇所からも借金をし、返済が困難になっていく多重債務者が、200万人超といわれています。過酷な取り立てなどから、自殺に追い込まれるケースもあり、深刻な社会問題になっています。最近、国から多重債務対策相談窓口の開設を促す指導文書が出され、県下でも茅ヶ崎市や大和市等が窓口を開設しています。本市でも相談窓口を開設すべきと考えますがいかがでしょうか。

答（市長）：市では多種多様な悩み事の解決の一助となるよう市民相談室と消費生活センターを設けてい

費生活センターを設けています。多重債務に関する相談は、弁護士による法律相談と消費生活専門相談員による消費生活相談で対応しています。今後も相談窓口の充実を図るとともに関係機関と連携し、相談後の状況把握に努めていきます。



▲市役所1階 消費生活センター

できるだけ早く 小学校にAED設置を

公明党 久米 和代



問：自動体外式除細動器（AED）が、8歳未満の小児にも使えるようになり、小学校や保育園にも設置が広がっています。小学校は、災害時の避難場所にも指定されており、多くの市民が出入りする施設でもあります。学校における子どもたちの安全・安心を確保するために、できるだけ早く、小学校にもAEDを設置することが必要ではないかと考えます。

答（理事兼教育部長）：AEDは、すでに中学校には設置していますが、8歳未満の小児にはエネルギーが多すぎて、使用した時のやけど等のリスクや小児用パッドが認可されていないことから、小学校には設置していませんでした。19年度に、8歳未満の小児にも小児用パッドを使つたAEDの使用が可能となつたため、小児用パッドを使用できる機種の選定や、教職員等の講習を含め導入していききたいと思っています。

厚木駅周辺の整備 いつから・どのように

新政海クラブ 木下 雅實



問：厚木駅周辺まちづくり検討調査報告書によると、基本方針を「暮らしやすく、魅力的な市街地環境の形成」「効率的な道路網の構築と安全・快適な道路空間の創出」「交通結節機能を強化」「相模川と連携した水と緑が感じられるまちづくり・顔作り」としています。調査にあたり地域住民等からどのように意向把握し、意見交換を行ったのか伺います。また、この基本方針を今後どのように具体化し、整備の時期はいつにするのか考えを伺います。

答（まちづくり部長）：本調査は整備の方向性を示したものであり、整備には、地域の方々と、県、鉄道事業者との調整が必要になると考えます。そのため現段階での整備時期は未定ですが、今後も積極的な取り組みを実施していきたいと考えます。

市内各種公共施設 市民の利用を優先に

新政海クラブ 氏家 康太



問：本市は多くの公共施設が整備されており、交通利便性も高いため、市外からの利用者が多くなっています。しかし公共施設は、市民の税金によつて整備されたものであり、市民が優先してサービスの恩恵を受けるべきです。公共施設の利用料金は、受益者負担と公費負担で賄われているものが大部分かと思いますが、その公費負担率が、市内と市外在住者で同額であることには、検討が必要と考えます。公共施設の市外利用者に対する市の考えと対応を伺います。

答（市長）：公共施設は、市民から多くの税金が投入されている以上、市外の方に比べ廉価で利用できるようなにしても公平性を欠くものではないと考えています。答（企画部次長）：市外の方の利用率は、地下駐車場43%、運動公園は50%、北部公園が60%、図書館で20%ほどとなっています。現状の申込方法については、市内と市外で利用予約申請の開始時期に1〜2カ月の差を設けたり、施設の利用料金を1・5〜2倍に設定するなどして対応しています。